



2014年
5月20日
NO.375

九州旅客鉄道労働組合

福岡市博多区博多駅前2丁目3-23
TEL 092-472-7950(代)
URL http://www.jr-krwu.org
発行人/許斐元文 編集人/木村智隆

第85回メーデー

「働くことを軸とする安心社会」の実現を!

労働者保護ルールの改悪に断固反対する特別決議を採択

4月26日から5月1日にかけて、「労働者の祭典」第85回メーデーが各地の会場で開催され、JR九州労組からも多くの組合員・家族が参加した。式典では、「人への投資」を経営側に求める中、これに逆行する労働者保護ルールの改悪に反対し働く人に十分に報いる社会の実現、核兵器のない世界の実現、ストップ・ザ・格差社会の実現を図り、「働くことを軸とする安心社会の実現」を目指すメーデー宣言を採択した。

福岡地区



4月26日、舞鶴公園西側広場において、第85回福岡メーデーが開催されました。「力合わせよう!心つなげよう!みんなの暮らしの底上げ実現のために」をメインスローガンに、約6,300人の参加者が集まり、JR連合福岡地協からは300名の組合員とその家族が参加した。式典では、主催者を代表してJR連合選出の連合福岡高島会長が「労働者派遣法の改正や、解雇規制の緩和、長時間労働を強いることとなりうる制度の導入など、労働者保護ルールの後退につながる動きが顕在化している。働く者を踏み台にし、格差社会を助長させる労働者保護ルールの改悪

を断固阻止しなければならぬ」と、力強く訴えた。その後、メーデースローガンの発表、メーデー宣言(案)、労働者保護ルールの改悪に断固反対する特別決議の採択が行われ、最後に団結ガンバローで式典を締めくくった。

式典終了後、JR連合選出の連合福岡地協・保田議長を先頭に、メーデー会場

長崎地区



5月1日、労働者の祭典「第85回長崎地区メーデー」が長崎水辺の森公園において開催され、「すべての働く者の連帯で、自由で平和な世界と希望のもてる安心で豊かな社会をつくらう!」

を断固阻止しなければならぬ」と、力強く訴えた。その後、メーデースローガンの発表、メーデー宣言(案)、労働者保護ルールの改悪に断固反対する特別決議の採択が行われ、最後に団結ガンバローで式典を締めくくった。

このほか、JR連合から役員を選出している連合佐賀・北九州地協・遠賀川地協・桂築田川地協等にも、

をメインスローガンに、約3,600名が集まり、JR九州労組からは22名が参加した。

主催者を代表し、長崎地協議長の峰実行委員長が「がんばらば国体・がんばらば大会を、おもてなしの精神で感動ある大会にしよう!賃金アップ、労働条件の向上のために春闘をたたかおう!政治活動では、来年春の統一地方選挙に向けて万全な選挙態勢を作り、民主党・社民党の勢力拡大を図り、労働者の立場に立った政策制度の実現を図ろう!」と訴えた。

また、来賓祝辞ではJR連合国會議員懇談会会長でもある高木議員が「他の

福岡地本から参加した。【通信員 森永 克章】



会場から天神まで1.5kmをデモ行進

大分地区



4月26日、大分市の若草公園にて連合大分主催の第85回メーデー大分県中央大会が開催され、約2,400名が参加、うちJR連合からは50名が参加した。冒頭、主催者を代表して連合大分村田会長が挨拶に立ち、「労働者を取り巻く

環境が一部では改善されているが、未だに非正規労働者も多く、更なる労働環境改善が必要である。また、政府が導入を検討しているホワイトカラー・エグゼンプションや労働者派遣法改定についても、雇用不安や労働環境悪化を招く政策であり、反対していかなければならない」と、訴えた。このあと、月例賃金向上や格差是正を求める「メーデー宣言」および、「労働者保護ルールの改悪に断固反対する特別決議」が採択され、今後も労働者が一致団結して闘い続けることを確認し、最後に団結ガンバローで閉会した。

【通信員 岡村 悠也】

熊本地区



4月29日、益城町のグラッセ熊本において、「第85回メーデー熊本県中央祭典」が開催され、各産別の組合員ら約3,000名が集まり、JR九州労組からは83名が参加、「限定正社員」の拡大や労働時間規制の緩和など、政府が進める雇用改革に反対し、労働者の処遇改善への取り組みを確認した。

主催者を代表し、連合熊本の上田会長は「デフレ脱却や成長の名の下に、労働者に犠牲を強いる政策を強行することは断じて許されない。安心な社会実現のためには雇用の規制緩和ではなく、労働者の処遇や環境の改善を図ることが急務である」と挨拶され、更なる連帯の強化を訴えた。祭典では、メーデー宣言のほか「雇用不安労働環境の悪化を招く労働者保護ルールの改悪に断固反対する」と特別決議を採択した。今回、初めての屋内開催であったが、多数の飲食店の出店や催し物があり、特にミニSLも運行されて子供たちのしゃが声や聞こえるなど、多くの参加者で賑わっていた。

【通信員 小早川 優太】

鹿児島地区



連合鹿児島の第85回メーデー鹿児島県中央集会は、4月26日、鹿児島市の中央公園で32団体約2,300名の参加により開催され、JR連合からは、JR九州労組及びJR九州バス労組の組合員・家族約80名が参加した。

集会は、晴天のなか10時より開始されたが、この季節には珍しく9時頃から1時間程度、桜島が3回爆発し、会場に粉雪のような灰を降らせ、灰を払う姿があららこちらで見受けられた。今回、会場で配られたパンフレットには、「メーデー宣言(案)」と「労働者保護ルールの改悪に断固反対する特別決議(案)」と共に、1886年5月1日に米国で宣言された「8時間は労働に、8時間は眠りに、そしてあとの8時間はわれわれの自由」の掲載があり、メーデーの起源を知ることができた。また、今回もプラカード展が開催され、見事、鹿児島地区連合分会女性委員長が2位、鹿児島地区連合分会が3位の栄冠に輝いた。

【通信員 米元 弘樹】

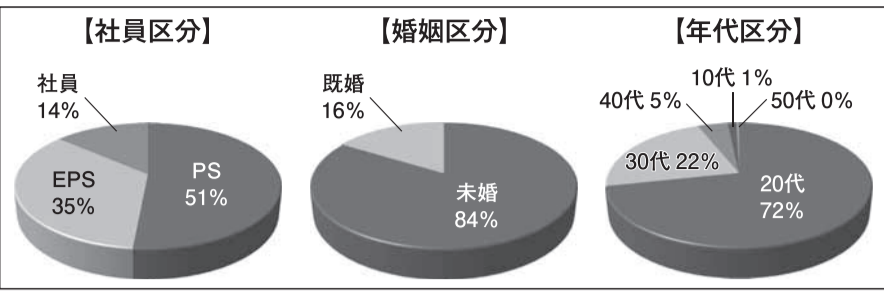
2013年度女性組合員アンケート結果まとめ

男女平等参画委員会は、2014年2月に女性組合員を対象としたアンケートを実施しました。アンケートにご協力頂きました組合員の皆さんにお礼を申し上げます。

なお、主な分析結果は次のとおりです。

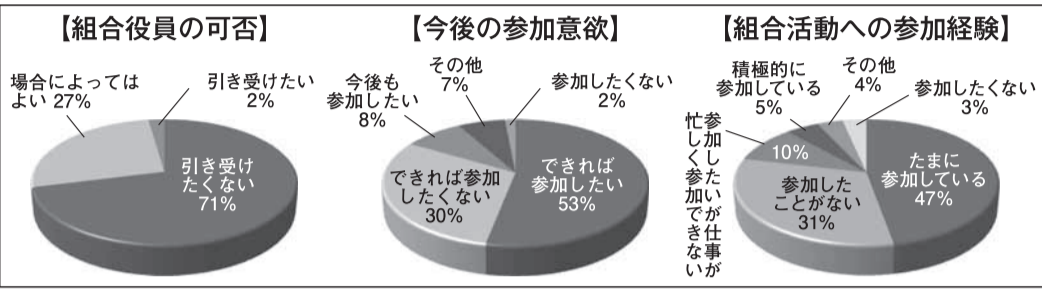
1 アンケート回答構成について

アンケートでは、1、471名中800名の組合員から回答を得、そのうちPSとEPSが86%を占め、その72%が20代となった。



2 組合活動への参加状況について

組合活動への参加状況については52%が「参加したことがある」と回答しており、業務多忙で参加できない組合員を含めれば、62%が組合活動への参加を希望していることが分かる。また、今後の参加意欲においては、61%が引き続き参加を希望しており、過半数を超える女性組合員が組合活

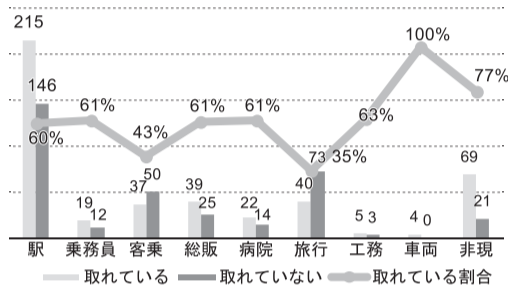


動へ興味を持っていることが分析できる。

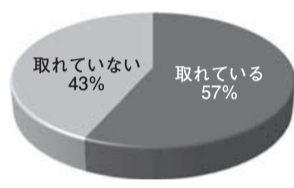
また、34%の組合員が「参加したくない」または「仕事が忙しくて参加できない」としている主な理由に「活動内容が分からない」

が62%にも昇った。しかしながら、組合役員をやってもよいかの質問に対しては29%が「やりたい」または「やってもよい」との回答があり、今後の組合活動への女性参画が期待される。

【職種別ワーク・ライフ・バランスの実態】



【ワーク・ライフ・バランス】



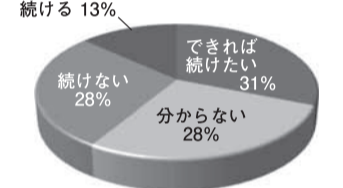
3 ワーク・ライフ・バランスについて

ワーク・ライフ・バランスについては、全体の57%が「取れている」と回答しているが、系統別にみれば客室乗務員及び、旅行業において半数以上が「取れていない」と回答しており、職種間におけるバラつきが改めて分かる。

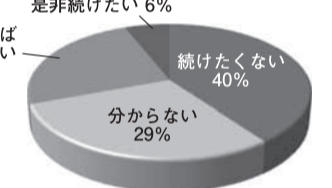
また、結婚・出産に関しては、44%が「結婚後も就業を継続したい」と回答しているのに対し、出産後は31%に低下している。

更に、「結婚後に仕事を

【結婚後の就業継続について】



【出産後の就業継続について】



4 生理休暇について

生理休暇については、37%の女性組合員が「制度そのものを知らない」と回答し、知っている組合員の91%が「申請したことがない」と回答している。その原因として、「生理休暇を取得する

分会を訪ねて

15 社員研修センター分会

最優秀分会目指して奮闘中



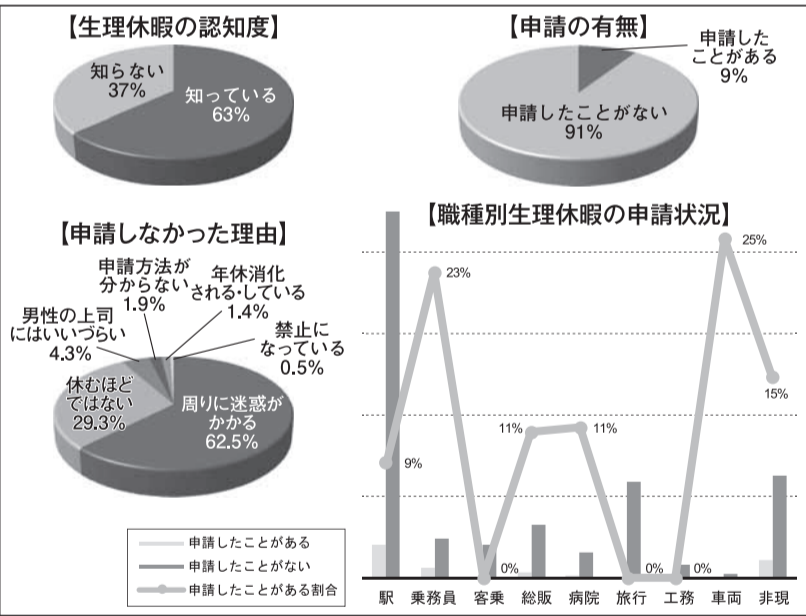
- ◎ 執行委員長 後藤 智幸
- ◎ 組織数 33名 (組織率100%)
- ◎ 活動内容 社員研修センター分会は、社員研修センターの単独分会です。業務内容は、社員研修センターで行われる各種専門研修、新入社員研修などの担当講師で、分会長は安全創造館、副委員長は運転士養成、書記長は駅(運転)の担当講師と、様々な研

修を担当しています。組織構成は、組合員33名中JR採用者が30名と非常にフレッシュな分会です。また、15名が野球部に所属しており社員研修センター所属ではあるものの、他箇所在働しているため組合員全員が揃うことが難しく、また担当する研修の期間中は、授業時間外でも学級日誌やテストの採点等の業務により、分会役員でも集まり難いなど苦労もあり

ますが、試行錯誤の分会運営の中、情報連絡をはじめ種々の活動を各役員が連携・カバーしながら活動を展開しています。昨年は、普段なかなか集まらない分会組合員の親睦と交流を深めるため、夏季にパーベキュー大会を開催した他、各種活動への参加、賃金実態調査を始めとする各種調査や春闘署名行動や、共済手続など、日頃の組織運営とお世話活動を着実に、昨年は優秀分会表彰を受賞しています。更に今年は、最優秀分会を目指し若さ溢れる活動を行っていきます。

ことで周りに迷惑がかかる」が63%にのぼり、職種別では車両の25%を最高として

全体的に低水準であり、現行制度の運用方法が問われる結果となった。



法的なトラブル相談・解決に!!

「なんでも法律相談ダイヤル(直通)」

JR九州労組は、組合員の様々な法律に関する相談(多重債務、相続問題、交通事故、離婚問題等)に応じるために、顧問弁護士のご協力を頂き、組合員が直に電話して相談できる「なんでも相談ダイヤル(直通)」を開設します。多重債務や法律に関する事で悩んでいる方は、お気軽にお電話ください。担当弁護士からのアドバイスが受けられます。

なんでも法律相談ダイヤル **080-8377-7651**
 開設時間(祝日、年末年始を除く) 月曜日から金曜日 10時~16時

ご注意
 ①相談者の個人情報や相談内容については、春山法律事務所限りとし、JR九州労組は一切関与しません。
 ②相談は無料(要通話料)です。但し、裁判手続き等に移ると、その費用は相談者の負担となります。

春山法律事務所 担当弁護士: 春山 九州男、樋口 佳恵、林 誠